



かわむらしんじょう

河村新城跡 (山北町No. 15)

所在地 足柄上郡山北町川西字モチアキド
1051-イ-7 外

期 間 平成 31 (2019) 年 4 月 1 日～
令和 2 (2020) 年 3 月 31 日

調査面積 23,331m²

担当者 相良英樹・砂田佳弘・南出俊彦
吉澤 健

調査概要

河村新城跡は、足柄上郡山北町川西に所在します。JR 東海御殿場線谷峨駅から北西約 1.6 km の地点に位置し、河内川右岸の城山と呼ばれる丘陵東側中腹の標高 345 m 付近に位置します (図 1)。周囲は西丹沢山地から南流する河内川、静岡県小山町から東流する鮎沢川、城山の北側には河内川支流の塩沢川が存在し、3 方を河川に囲まれた天然の要害です。丘陵の広さは東西約 900 m、南北約 800 m、各河川との比高差は 180 ～ 150 m に及びます。周囲の眺望は良く、相模・甲州・駿河の境目を押さえる拠点としての役割があったのでしょう。

江戸時代に編纂された『新編相模国風土記稿』の中に、新城についての「城蹟図」が描かれており、そこには本城跡・大手跡・蔵曲輪・櫓臺跡・裏門跡・遠見番所跡・二之曲輪・鮎窪などが、その規模とともに記されています。山北町史の新城跡郭群想定図によれば、今年度調査を実施した 2・3 区の一部がそれぞれ櫓臺跡、裏門跡に想定されています。

(1) 近世 畝状遺構 5 群と石列遺構 1 基が確

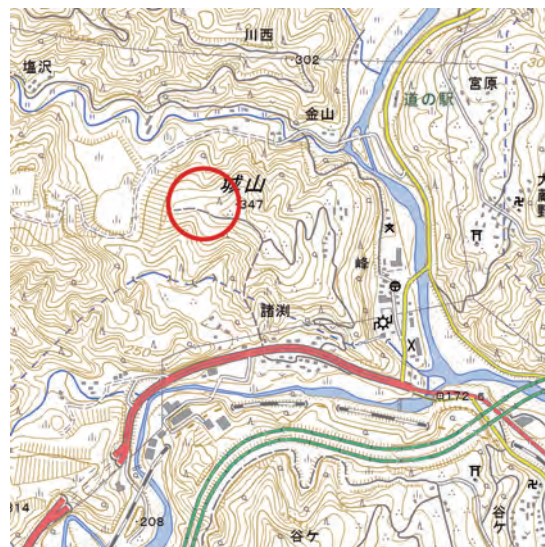


図 1 調査地の位置 (1/25000)

認されました。いずれの遺構も宝永スコリア降灰直前に構築されており、1707 年以前の様相を良好にとどめています。畝状遺構は 2 区北側の緩斜面あるいは堀内などの比較的傾斜の緩い平地に構築される例が多く、畑の跡と考えられています。石列遺構は C 10 堀を一部埋め立て構築されています。

(2) 中世 溝、堀遺構 5 基、掘立柱建物跡 2 棟、曲輪 8 箇所、橋跡 2 基、溝状遺構 7 基、土坑 76 基、ピット多数を検出しました。(図 2)。堀は底部が平坦な逆台形の堀切および横堀と V 字形の縦堀の 2 種類があります。堀切と横堀が 4 基、縦堀は C 9 堀 1 基です。堀壁面は 45 度から 60 度の角度で立ち上がる遺構が多いです。掘立柱建物跡のうち、2 区の C 8 掘立柱建物跡は平面形態および山北町史の想定図で「ウラ門」と描かれた付近から検出された点から、門に係する建物跡として注目されます。その他ピット

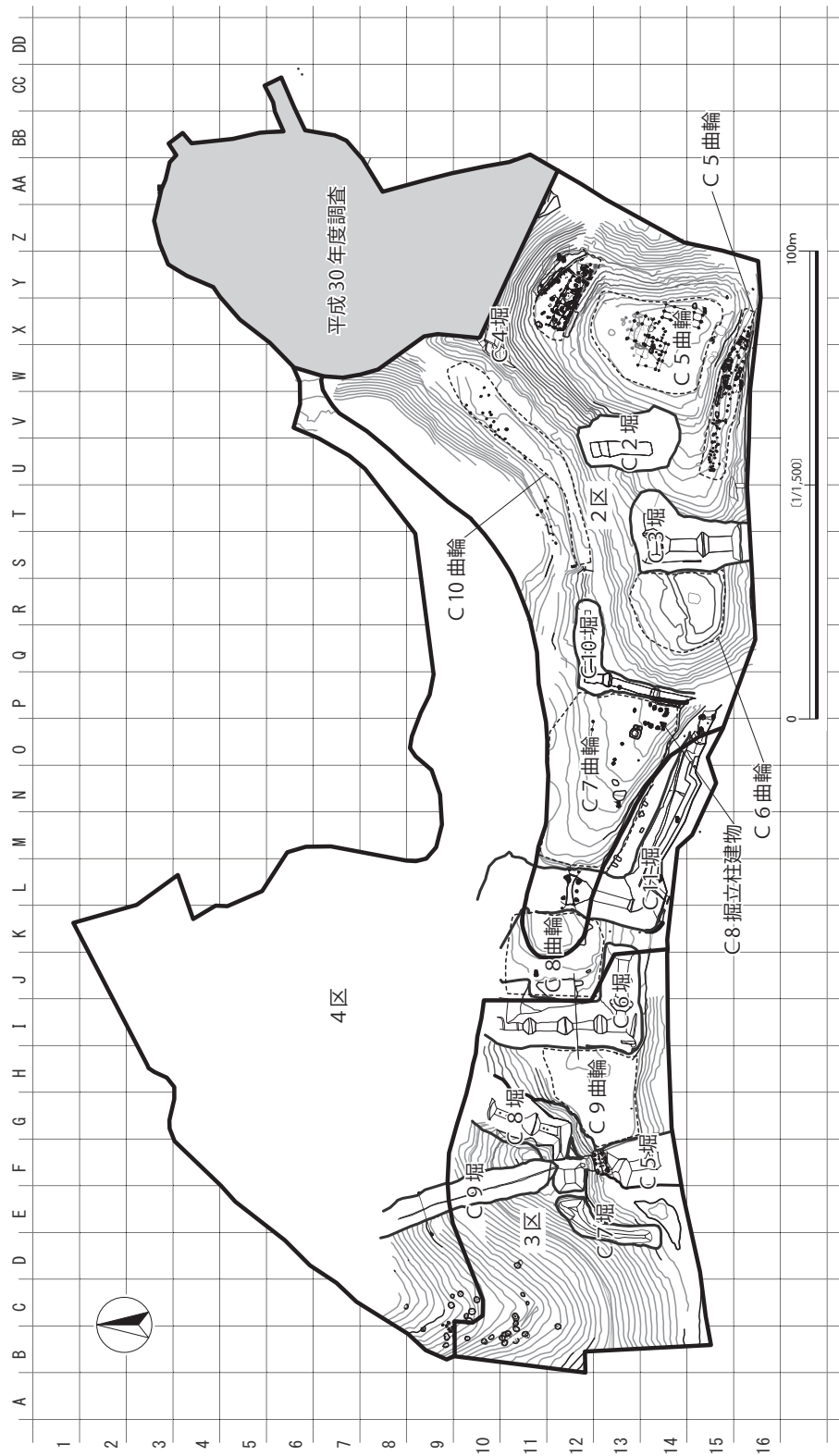


図2 中世遺構配置図

トを多数検出しました。遺物は、舶載磁器・陶器・かわらけ・石製品（砥石・碁石状円礫）・銭貨・鉄製品（釘）・銅製品（銃弾）・漆器片などが出土しました。舶載磁器は白磁や染付皿が少量ではあるが出土しています。陶器では、瀬戸・美濃製の平碗や灰釉皿、すり鉢、常滑製の壺、甕が出土しました。破片ではありますが、すり鉢と甕の点数が多い傾向が見られます。かわらけは手づくねとロクロによる成形の2種類があります。判読は難しいですが、かわらけの中には墨書書きの痕跡や口縁部に黒い煤が付着したものが数点認められます。成形方法から見る限り、ロクロ成形のかわらけの出土量が多いです。砥石は凝灰質流紋岩製が多くを占めます。出土した銭貨はすべて永楽通宝です。銃弾は昨年度に続き1点出土しました。漆器は細片のため、器種を復元することは難しいですが、両面および片面にのみ赤漆が塗布された遺物があることから、複数の器種があった可能性があります。

まとめ

今回の調査では、近世、中世および縄文時代の調査成果が得られました。近世に関する成果は、前年度に引き続き、畝状遺構が複数検出さ

れたことです。このことから、城跡が広く耕作地として利用された状況を確認できました。畝状遺構は切り合い関係が確認できる箇所もあることから、畑の耕作が複数回にわたる状況が観察されます。

中世に関する成果は、大きさの異なる曲輪が8箇所確認され、それらの曲輪と曲輪の多くは堀で区画されていることが分かりました。調査区の中でも一番高い標高に位置するC5曲輪には庇付の建物跡と総柱建物跡が併存しており、他には見られない様相を呈します。その一方で建物跡等が検出されない曲輪も複数あることから、居住機能を重視した曲輪や付属的な曲輪など、曲輪ごとに役割が異なっていたことが推定されます。出土遺物について、機能面から見ると、碗や皿といった供膳具、壺や甕などの貯蔵具、すり鉢といった調理具が遺物組成の中で比率が高く、その他の生活に関わる遺物の出土は限られるようです。

縄文に関する成果は、土器だけではなく石鏃やその未製品が比較的多く出土したことです。石器製作跡の可能性もあります。

（相良英樹）



写真1 調査区全景（北から）



写真2 C 8掘立柱建物跡（北から）